



発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田 村 泰 教

秋田市広面字赤沼3の2

電 話 (018) 834-3443

F A X (018) 835-6864

<http://www.miyoshi.or.jp>



開山祭ご案内号

太平山頂上荷上げ（6月1日）

（新堀孝志氏撮影）

インターネットが広く一般に普及して十年余り。今では携帯電話等からも、様々な情報を瞬時に手に入れることができる。今さらながら本当に便利な時代になった。▽しかし一方、自分を省みると、パソコンやネットを多用するあまり、辞書や専門書を開く機会が減り、漢字も書けなくなった。安易な利便さに頼った挙句、自身の能力が低下している面は否めない。▽最近、山ガールをはじめとする若い方々が、山に戻りつつある。彼らはデジタルツールを自在に操る一方で、実際に自分の足を使い、汗をかいて自然に触れることの大切も理解しているのだろう。何事もバランスが大事なことは言うまでもない。▽スマホやタブレット端末で撮影した山頂からの写真や動画を里にいる友人に送る・・・一昔前には考えもつかなかったデジタルと実体験の融合は、山登りにも新たな楽しみを与えてくれる。ITが架空世界だけではなく、人間本来の肌感覚を取り戻す呼び水ともなるように、上手く活用したいものだ。

宮司 田 村 泰 教

地元シリーズ④⑥

山登りと私

新堀 孝志



いつ頃に取り憑かれてしまった。仲間だろう。ができあちうこちの山に一緒に私が山登ることも多くなつたが、よく一人で時間を作つては山に登つたものである。

山で前岳、中岳、弟子還りを経由して山頂である奥岳まで行き、また同じルートを引き返したことでだけはよく覚えている。次に登った山が白神岳で、二俣コースを行った。現在はもう廃道に近しい状態になっているが初心者にはかなり険しいコースである。今、考えるとはじめによくこなさきついルートを一人でそれもしっかりした登山用具もなしに登ったものだと思われている。

このふたつの体験がもたらしたのかどうかその後山登り

管理している方々の作業をできるだけお手伝いするよう心懸けた。その思いが通じたのか、山小屋を閉鎖する際の荷下げをお手伝いするようになった。かれこれ二十年位続けている。

次のお手伝いするようになったのが、六月のはじめ頃の荷上げ、登ろう会のサポートなどで

最近山に關連したさまざまな行事のお手伝いをするようになった。そしてそれを通じて神道により引きつけられ、もしお手伝いしていなければ読むことはなかったであろうと思われる古事記や日本書紀などを読み始めるようになった。今、日本という国の成り立ちに大いなる興味をかき立てられ、關連する書籍を読むようにしている。

山登りから神道に引きつけられ日本という国の成り立ちまで考えさせられるようになるという自分でも思ってもいなかった

方向に進む不思議さに驚いている。これも大神様の思し召しなのかもしれない。

これからも感謝する気持ちを忘れることなく山だけではなく神社のさまざまな行事のお手伝いを続けてまいりたいと思っています。

(神社協力会幹事)

(登ろう会を引率)



山ガール登山

権欄宜 和 田 恵梨子



ここ数年の登山ブームにより、若い人の間でも登山を始める人が増えました。最近では太平山でも二十代、三十代と思われる女性の登山者を多く見かけます。最近の登山者は性別・年齢問わずカラフルなウェアを着こなし、町にいるときと同じようにおしゃれを楽しんでいます。今回は第三回目となる神社主催の山ガール登山について簡単に紹介いたします。

女性限定登山会「山ガール登山」は太平山頂上奥宮並びに参籠所が竣功した翌年に始まりました。登山ブームを経験していない二十代、四十代の女性を中心に募集を行い、登ろう会と同様に山岳ガイドが同行する登山会です。参加者は、登山に興味があったがきっかけを掴めなかった人、知り合いに登山経験者がいないため諦めていた人、年齢・性別を問わない登山会には参加し難かった人など様々で、今までの参加者は全員太平山登山(奥宮まで登頂)が未経験の上、登山初体験という方もおりました。

それまでの緩やかな登りから本格的な上り坂に入ったからです。ひたすら頂上を目指して坂道を登っていくと、御手洗の休憩所に到着です。冷たいお水をいただく皆元氣を取り戻し、会話を楽しむ余裕が生まれます。一息ついたところで再び山頂を目指します。今まで以上に険しい道のりに汗が滝のように流れます。一步一步前進し、ようやく山中を抜けて稜線に出ます。さわやかな風が吹き、鐘を鳴らして山頂に合図します。山頂の目前、最後の難所である急な階段を登りきるといよいよ登頂です。山頂からの見事な眺めに自然と笑顔になります。全員が揃ったところで御祈禱を行い、最後には大盃でお神酒をいただきます。一番盛り上がるのは夕食と二次会です。食事をしながら女性同士会話が弾みます。元気な人はその後二次会に参加します。入浴後解散となります。

山ガール登山に参加したことによって、山に対して今まで以上に親しみと興味を持っていたことが出来たら幸いです。そして今度はご友人やご家族を誘って登山に挑戦していただきたいと思っています。今年もより多くの参加者が集うよう頑張っております。皆様方の登拝も心からお待ちしております。御滝神社までは比較的登りやすいと思いますので、ぜひ太平山へお越し下さい。



第52回 第53回

『太平山に登ろう会』のご案内

秋田市のシンボルであり、古くから崇敬を集める霊峰太平山奥宮を登拝いたします。是非、お仲間同士お誘い合わせの上ご参加下さい。(おひとりでのご参加も大歓迎です)

山岳会員が同行案内しますので、初心者の方でも安心してご参加頂けます。

記

- ・期 日 第52回：7月27日(土)～28日(日) (1泊2日)
第53回：9月7日(土)～8日(日) (〃)
- ・集 合 午前11時 里宮
- ・参加費 9,500円 (宿泊・交通費・保険料・初穂料・食事代・記念写真代等一切を含みます)
- ・申込み 10日前までに係(第52回：原田、第53回：上村)までお申込下さい。(定員各20名)
- ・登山路 旭又(仁別)コース往復(時間はあくまでも目安)



1日目

里宮 11：00集合 安全祈願後出発→旭又キャンプ場(12：30)→御滝神社→御手洗(みたらし・冷たい湧水・ブナ林)→太平山山頂(16:30頃) 祈願祭の後夕食直会【山頂山小屋 泊】

2日目

(朝拝行事・朝食)→御手洗→御滝神社→旭又→仁別森林博物館見学→里宮(昼食後解散)

※ご来光(朝日)を拝みます

※山頂からのパノラマや男鹿半島の夕陽・満天の星空などをお楽しみ下さい

第3回 『山ガール登山』のご案内

初心者
大歓迎

女性一人で山のツアーに参加するのは・・・。そんな方のために、女性限定の登山会を実施します。秋田市のシンボル霊峰太平山は豊かなブナ林に恵まれ、美味しい空気の中登ることが出来ます。

日頃の忙しい日常の生活を抜け出して、山頂まで登ってみませんか？山頂では男鹿半島の夕陽・満天の星空・ご来光を見ることが出来ます。



【期 日】平成25年7月20日(土)～21日(日) (1泊2日)

【集 合】11時20分里宮

【対 象】健康な方(20代～40代の女性限定)で、体力がある方

【参加費】6,000円 (宿泊・食事代、初穂料、保険料、写真代等含む)

※山道の運転に自信のない方は、神社の車にて登山口へ向かいます。

【申込み】電話・FAX・メール等。7月15日締切り(定員20名)。担当：和田

1日目

里宮11:20集合 安全祈願⇒ザ・ブーン⇒旭又口⇒登山開始⇒御滝神社⇒御手洗(冷たい湧水・ブナ林)⇒山頂着16：15頃(祈願祭、夕食懇親会)【山頂泊】

2日目

(朝拝行事・朝食)⇒出発⇒旭又園地⇒ザ・ブーン着11:30頃 (お風呂・昼食後解散)

※ご不明な点(荷物・服装など)に関しましては、担当和田迄ご連絡ください。

夏越の大祓式のご案内

○日時 六月三十日(日) 午後三時(里宮)

この半年の間に知らず知らずの内に自分の身に積もった罪穢れや災いを、形代(かたしろ)や切麻(きりぬさ)、また茅の輪で祓い清め、この夏の邪気を祓い、残る半年を心身ともに清々しく過ごすことをお祈りいたします。

是非、ご家族皆さまお揃いでご参列くださいませ。

《形代でのお祓いのしかた》

- 一、形代にそれぞれご家族の氏名・生年月日をお書き下さい。
- 二、形代で全身を撫でて祓い清めます。特に病氣やケガなどで具合の悪い所を入念にお祓い下さい。
- 三、次に形代を両手で持ち、思いをこめて大きく三度息を吹きかけて下さい。

●形代は神社にご用意しております。必要数をご連絡下さい。

●以上を行った後、ご家族の分をまとめて当日ご持参下さい。

尚、ご都合のつかない方は、随時ご持参又はご郵送下されば神事ご奉仕の上、ご神符をお送り致します。

茅の輪神事

水無月の

六月三十日(日)

なごしの祓する人は

午後三時肅行

千歳の命延ぶといふなり



第28回

太平山写生会

秋田のシンボル太平山をかこう!!

平成25年 7 月 6 日(土)

午前 9:00

太平山三吉神社社務所集合



日時 平成25年 7 月 6 日(土)
午前 9 時～ (終了次第解散)
【雨天時 7 月 7 日(日)に順延】

集合場所 太平山三吉神社 社務所
参加申込 当日集合場所にて受付けます。

参加対象 幼児、小・中学生、ご父兄

写生場所 太平山三吉神社 境内

写生対象 太平山・神社建物、景色など

様 式 水彩・クレヨン・パステルなど自由

持 ち 物 画版・昼食
(画用紙・飲物は準備しております。)

優秀作品 優 秀 賞 (約30点)、に選ばれた方には、8 月18日(日)表彰式にて、賞状・賞品を差し上げます。

主 催 太平山写生会実行委員会

協 賛 秋田中央郵便局 秋田魁新報社
NTT東日本秋田支店 秋田銀行広面支店
北都銀行広面支店 秋田信用金庫広面支店
(株)マルシン (株)ぺんてる (株)花のヤマト
イチノセキ時計店

そ の 他 参加者には記念品を差し上げます。

問 合 せ (834) 3443 係：和田まで

第62回式年遷宮奉祝 伊勢神宮参宮旅行のご案内

伊勢神宮のご遷宮がいよいよ今秋に行われます。

当社では20年に1度の佳節を奉祝する参宮旅行を下記の通り開催いたします。
京都の社寺参拝をはじめ、京都御所見学など見どころ満載の旅行ですので、是非お誘い合わせの上ご参加下さい

○旅行期間：平成26年 3 月11日（火）～ 3 月14日（金） 3泊4日

○旅行代金：136,000円（秋田空港起点）

○募集人数：70名（定員になり次第締め切ります）

○申込方法：申込書ご記入の上、申込金 5,000円を添えてお申込下さい。

○締切日：平成25年 9 月30日



御正殿（内宮）



上賀茂神社

日程	行 程	宿泊施設	食事
1日目	秋田空港 ---- 羽田空港 ---- 品川駅 ---- 名古屋駅 ---- ⇒ 二見興玉神社（浜参宮） ⇒⇒⇒ 伊勢神宮外宮（御垣内参拝）・せんぐう館⇒⇒⇒ 神宮会館（懇親会）	《伊勢泊》 神宮会館	食事 夕
2日目	伊勢市内 ⇒⇒⇒ 内宮（御垣内参拝・お神楽）・おかげ横丁 ⇒⇒⇒ 京都市内（昼食） ⇒ 伏見稲荷大社 ⇒⇒⇒ 御寺泉涌寺 ⇒⇒⇒ ホテル（夕食各自）	《京都泊》 平安の森京都 2日間	朝昼 ×
3日目	京都市内 ⇒ 平安神宮（正式参拝）⇒ 世界遺産上賀茂神社（正式参拝）⇒ 京都市内（昼食） ⇒ 銀閣寺 ⇒ 智積院 ⇒ 京都国立博物館見学 ⇒ ホテル（懇親会）		朝昼夕
4日目	京都市内 ⇒ 京都御所 ⇒ 広隆寺（国宝館）⇒ 刺繍館（昼食）⇒ 松尾大社 ⇒ サントリー山崎蒸留所 ⇒⇒⇒ 伊丹空港 ---- 羽田空港 ---- 秋田空港		朝昼

※交通事情等により行程が変更になる場合があります

お伊勢さん 28

式年遷宮の神事④

・洗清（あらいきよめ）平成二十五年九月二十四・二十六日
新殿が竣功したのち、殿内を洗い清める式。

・心御柱奉建（しんのみはしらほうけん）同 九月二十五日・二十七日
ご正殿中央の床下に、心御柱を建てる行事。遷宮諸祭の中でもひととき重んじられてきた深夜の秘事です。

・杵築祭（こつきさい）同 九月二十八・二十九日
新宮の竣功を祝し、柱の根もとをつき固めるお祭り。

・後鎮祭（ごちんさい）同 十月一日・四日
新殿の竣功を喜び、大宮地（おおみやどころ）に坐す神に、平安に守護頂くことをお祈りいたします。

・御装束神宝読合（おんしょうぞくしんぼうとくごう）同 十月一日・四日
新調された御装束神宝を新宮におさめるにあたり、照合いたします。

・川原大祓（かわらおおはらい）同 十月一日・四日
遷御前日、御装束神宝をはじめ、遷御に奉仕する祭主以下を川原の祓所で祓い清める儀式。

・御飾（おかざり）同 十月二日・五日
遷御当日、調進された御装束で新殿を装飾いたします。

杵築祭

川原大祓

© 神宮司庁

伊勢神宮で行われる第六十二回式年遷宮（平成二十五年）に關する企画



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮



みよしスケッチ



直会



当日祭

春季例大祭(五月七日・八日)
 好天のもと厳肅裡に斎行
 いたしました。



講社旅行(五月二十四日)
 東湖八坂神社に参拝いたし
 ました。



札幌三吉神社例祭参列(五月十五日)



山頂準備作業(五月十六日)
 残雪多い中、奥宮、山小屋
 の開所準備を行いました



神社協力会総会(四月十九日)
 本年度の活動予定などを話
 し合いました。



神武館後援会総会(四月十二日)

平成二十五年 太平山 山開きのご案内

去る六月一日、快晴のもと、燃料や水・資材等の荷上げ空輸作業が無事行われ、いよいよ本格的な登山シーズンを迎えました。

本年は十月四日まで神職及び関係者が山頂に常駐いたします。霊峰太平山の清浄な空気のもと日頃のストレス解消と心身のリフレッシュがてら、是非お誘い合わせの上、ご登拝下さいませようご案内申し上げます。

※(旭又登山道) 弟子還沢の橋は豪雪の影響で一段と歪みました。簡易の迂回路がございますが、くれぐれもお気をつけ下さい。

※丸舞口、野田口の登山道も崩落等の危険箇所がございますのでご注意ください



【奥宮・参籠所のご案内】

○祈禱・宿泊・食事等ご希望の方は事前に必ずご連絡願います。

○宿泊

大人 三〇〇〇円
中高生 二〇〇〇円
小学生 一五〇〇円

○休憩

(休憩所) 無料
(休憩仮眠室) 湯茶付

○食事

朝食 八〇〇円
夕食 四〇〇円
(キャンセル三日前まで)

○その他

ビール 五〇〇円
お茶・ジュース 三〇〇円
お酒 五〇〇円
カップ麺 三〇〇円

平成25年

開山祭

恒例により平成二十五年開山祭を左記により斎行いたします。多数の方のご参列を賜りますようお願い申し上げます。

記

日時 七月十七日(水) 午前十時

於 里宮拝殿(直会はございません)

この祭儀は古式に則り、里宮での神事後、神人奉仕の方々により御神体を太平山山頂に御遷御申し上げます。

○ご参列の方は、七月一日までに係 和田までご連絡下さい。

○神人奉仕・斉館宿泊希望の方、神人と同行せず別途登拝予定の方は、必ずご連絡願います。

○神人奉仕者は斎戒沐浴を厳守下さい。

